

愛知県立吉良高等学校 令和2年度の学校評価（中間評価）

本年度の重点目標	1 授業規律と学習習慣を確立するとともに、自主性の向上を図る。 2 道徳性と社会性を育成し、人権尊重意識・情報モラル・規範意識の向上を図る。		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	中間評価
総務部	広報活動	・ホームページの有効活用、中学生への本校を知る機会を増やす。	・中学生体験入学は中学校の通知範囲を拡大し、広く参加を呼び掛けた。新型コロナウイルスの影響による行事削減でホームページの有効活用はできなかった
	防災活動	・津波避難訓練、三校合同津波避難訓練の実施	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1年生による避難経路確認を行った。三校合同は密回避のため、本校だけの単独開催で行う予定。
教務部	基礎学力の向上	・魅力ある授業実践 ・評価方法の研究	・臨時休業中に ICT を利用した授業実践の研究がなされ、再開後の授業に生かされている。現状では一部の実践にとどまるため、授業公開週間を通してノウハウの共有を図りたい。 ・各種研究会が中止されてはいるが、観点別評価についての準備を進める必要がある。
生徒指導部	ネットトラブルの防止	・情報モラル講話の開催 ・ネットパトロールの活用 ・「心のアンケート」の見直し	・西尾警察署職員を招き、1年生を対象に情報モラル講話を実施し、生徒は真剣に聴くことができた。 ・本年度はネットパトロールに挙がる生徒は出ていない。 ・「心のアンケート」をマーク方式に変更した。今後書き方指導が必要である。
	登下校のマナー向上	・交通安全講話の開催 ・地域からの意見の周知徹底 ・校外指導	・交通安全講話は3密を避けるために学年ごとに計画。 ・交通マナーの意識喚起のために堤防道路に「のぼり」を設置。 ・本年度から下校指導を考査週間中に変更。先生方の意識も向上してきた。
進路指導部	進学指導、就職指導の充実	・主体的な学習習慣の確立を促す ・入試研究 ・企業研究	・4、5月が臨時休業となり、年度初めの進路行事は現状に応じて変更を加え、中止または簡略化して行った。 ・入試情報や就職日程については突然の変更も多く、対応に追われた。社会情勢の不安や受験勉強の遅れなどが、3年生の進路選択の安全志向に繋がっているように感じられる。
保健部	生徒の健康増進	・健康観察や自己管理能力の向上	・新型コロナウイルス感染症予防のための物品の用意及び掲示物や配布物の作成によって、生徒自身が体調管理や衛生管理を行えるようになった。
	環境美化・安全の推進	・美化委員会の活動の活性化 ・安全点検の実施	・月に一回、生徒による安全点検の結果と、教員による安全点検の結果を照らし合わせることで、環境整備に繋がっている。
生徒会部	部活動の活性化	・学年会、部活動顧問との連携 ・部活動における安全の確保	・部員生徒による部活動紹介は中止になったが、新入生オリエンテーションで部活動の活動内容、部の雰囲気や1年生に伝え、部活動選択に役立てることができた。 ・安全面では、保健部等と協力して熱中症対策、新型コロナウイルス感染対策を行い、それらを予防することができた。
	生徒会活動の充実	・生徒会顧問教員、生徒会役員、常任委員会の、三者間の協力	・生徒会教員の指導の下、生徒会役員、常任委員会ともに各々の役割を果たすことができた。常任委員会が自主的な活動を行うことができるように導くことが今後の課題である。
情報管理部	図書業務及び情報処理のマニュアル化	・各種業務をマニュアル化し、業務の受け渡しが円滑になるようにする	・係ごとに仕事の内容を確認し、必要不必要を分類し、業務の効率化を検討している。
3年	自覚と責任	・最上級生としての自覚、身だしなみ指導の充実	・3月より臨時休業になってしまったため、3年生のスタート前の意識付けが思うようにできなかった。身だしなみに関しては2学期以降、卒業式に向けて一層の充実を図っていきたい。
	自主性と協調性	・リーダーシップ、フォロワーシップの育成	・新型コロナウイルスの影響で、多くの学校行事が中止となったが、体育祭では、しっかりとリーダーシップを発揮し、各団で団結して下級生を引っ張る姿には感動した。
	進路目標の実現	・進路実現の支援	・臨時休業で2年生3学期からの意識づけの機会が減ってしまったが、学校再開後の担任の熱心な指導によって、生徒への意識づけ、支援を非常にスムーズに行うことができた。
2年	自覚と責任	・集団の中での役割の自覚、身だしなみ指導の充実	・教員の指導に素直に応じる生徒が多く、身だしなみ（特に頭髪）については、改善が見られる。
	学力の向上	・授業の充実、各生徒の習熟度に応じた学習指導	・授業中の様子は、一学期は概ね良好だったが、二学期になって集中力がやや欠ける生徒が出てきた。
	進路目標の設定	・LTやKT、個人面談の充実、進路指導部との連携	・進路目標がまだ曖昧な生徒が多いが、進路ガイダンスや模試を通して、自分の進路について熟考する生徒が増えた。
1年	生活や行動の自立	・基本的な生活習慣の確立、積極的な挨拶の励行、課外活動の推奨	・積極的に挨拶ができる生徒が多い。遅刻数も少なく、学校生活に意欲的に取り組むことができています。
	基礎学力の向上	・基礎基本の定着、授業規律の向上、家庭学習習慣	・学習習慣が身につけていない生徒が多く、時間をかけて指導

		の定着	しているが学習の基礎基本が身につけていない。
	進路研究	・多様な進路研究と職業観の育成、類型・コースの選択	・進路ガイダンス、進路研究、職業研究を通して、幅広い選択肢を知ることができた。
生活文化科	生活文化科の活性化	・行事や活動の活性化と広報活動の充実	・新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの行事が実施できず、生徒が主体的に参加することが難しい中、あいさつ運動が実施でき、生徒も参加できてよかった。今後も数少ない講習会等をホームページに掲載していきたい。
	教科指導の充実	・外部講師の導入による教員の指導力向上と教科指導充実	・例年行っている講習会を中心に行っている。さらに今年度はSTEMを利用して教員の指導力向上に活用できるよう、計画を立てているので教科指導に活かしていきたい。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律と学習習慣の確立、基礎的・基本的な知識と技術の習得</li> <li>・地域への貢献と地域への情報発信</li> <li>・職員の働き方改革の進展</li> </ul>	